

桜の聖母

傾聴ボランティアさくら “たより”

2014 年 10 月 31 日

桜の聖母
傾聴ボランティアさくら
発行
第 3 号

「傾聴ボランティアさくら」の皆様ご健勝に、それぞれでご活躍のこととお喜び申し上げます。被災地の復興事業の一環として 2012 年度に開講された「傾聴ボランティア養成講座」は、2014 年 7 月に第 5 期が終了いたしました。講師の岡安詔子先生とシスター古賀綾子に御礼を申し上げます。一昨年、傾聴養成講座の第 1 期養成講座が終わると同時に、ボランティアをしたいという希望の声があがり、時を同じくして社会福祉法人の施設から傾聴ボランティアの要請があり、それが核になって活動を始め、第 2 期養成講座終了時に「傾聴ボランティアさくら」と銘打って活動を続けました。続いて第 3 期養成講座修了された方々、第 4 期養成講座修了の方々の加入を頂き、活発に活動を続けて参りました。平成 26 年度 4 月 26 日付け総会のご承認をもって「傾聴ボランティアさくら」会員 83 名で正式に立ち上げることができました。その後活動の範囲も広がり、新たに加わった施設、高齢者総合休養村「あづまの郷」訪問、デーケアホーム「ツクイ」、グループホーム「もとうち」、特設傾聴ボランティア「さくら手芸部」浪江町「宮代仮設住宅」訪問が新たに加わり 8 カ所に訪問させていただいております。さらに可能性を探って 10 月に訪問させていただいたところは、相馬市馬場野井戸端長屋、磯部狐穴井戸端長屋の 2 か所でした。

春期には、活動の中から生まれた疑問、困難点などからさらにスキルアップを目指して、岡安詔子先生とシスター古賀綾子による「傾聴ボランティアアフターケアコース」と、「認知症サポーター養成講座」、「笑顔がはじけるマジック入門」、「音でつなぐ心のかけはし」、「傾聴力講座」、「緩和ケア及び終末期医療についての講演会」を開きそれぞれに和やかなうちに良い学びができました。どうか傾聴の場で生かされますように。なお、秋期は 2 回のアフターケアコースを準備していますので最後の「お知らせ」をごらんください。

「傾聴ボランティアさくら」の訪問活動先

1. 社会福祉法人「なごみ」訪問

訪 問 : 毎月第 3 日曜日

時 間 : 午後 1 時 45 分～打ち合わせ

2 時～3 時 各部屋に 2 人から 3 人で傾聴

3 時～3 時 30 分 振り返り

場 所 : 福島市大平寺町ノ内 30 社会福祉法人「なごみ」

交 通 : 福島交通バス 蓬莱東經由蓬莱団地行き「太平寺」下車 徒歩 5 分

現在の活動人数 : 33 名

2. 医療法人「生愛会」訪問

訪 問 : 毎月第4水曜日
時 間 : 14時～15時 (集合13時40分)
場 所 : 福島市大笹生字向平13-1 医療法人「生愛会」
交 通 : 飯坂線の桜水駅下車
現在の活動人数: 7名

※送迎車の往路は飯坂線の桜水駅13時20分出発、復路は15時15分に生愛会出発です。尚、新しいメンバーの開始は平成27年4月からとなります。

3. 「ツクイ福島笹谷」の訪問 株式会社ツクイ (デーケア) (事業所番号 0770103372)

訪 問 : 第一木曜日 第三木曜日 午前中10時～11時15分
住 所 : 福島市笹谷字東中条10-1
交 通 : 飯坂電車笹谷下車 徒歩5分 福島駅9時30分発
現在の活動人数: 3～8名

4. 社会福祉法人「とやの福祉会」の訪問 高齢者総合休養村あづまの郷

小規模多機能型居宅介護 「ゆきうさぎ」「グループホーム」

訪 問 : 毎月第2水曜日 午後2時30分～3時30分
住 所 : 福島市上鳥渡字北河原2-1
交 通 : 自動車が必要

福島交通バス 土湯、荒井、田原経由四季の里方面

福島一権ノ守(かみ)⇒徒歩5分 (遠いので車で移動が便利)

現在の活動人数: 6名～8名

5. グループホーム 「もとうち」の訪問 (事業所番号 0790100317)

訪 問 : 毎月第2金曜日
時 間 : 2時～4時
住 所 : 福島市本内字西河原5-4
現在の活動人数: 4名

6. 浪江町・宮代仮設住宅

松木町教会「愛の支援グループ」と共に訪問11月～12月の予定は別紙をご参照ください。

現在の活動人数: 6名

ロールプレー風景



7. 常設コーナー「傾聴さくら」

実施日: 毎月第2、第4木曜日

時 間: 午後1時30分～3時30分

場 所: 桜の聖母生涯学習センター1階第2学生小ホール

現在の活動人数: 延べ20名ほど

8. 傾聴ボランティア「さくら手芸部」

実施日 : 毎月第1木曜日

時 間 : 午後1時30分～3時30分

場 所 : 桜の聖母生涯学習センター1階、第2学生小ホール

現在の活動人数 : 6～7名

「傾聴ボランティアさくら」の活動体験

「なごみ」傾聴ボランティア

Aさん

社会福祉法人「なごみ」に7名が傾聴ボランティア活動を始めてから2年が経過しました。4期養成講座修了生が加わって現在活動人数は33名になりました。今回は男性の方も加わり積極的に活動に入り、以前から探していた入所されている方の趣味の相手を引き受けてくださることになり、喜びを分かち合っています。今後も傾聴を確実にしながら、多様なことに対応してゆきたいと思っています。

最近、高齢でお元気な方々のおられる部屋で傾聴をしています。気持ちが塞いでいらっしゃる方のところに行って傾聴を始めましたところ、その方はいつもできていたことを失敗してしまい、そんなご自分を信じられなくて困惑しておられました。私もそういうことがあるので、「誰もが経験することです」と話したら笑顔になられ、「これからはがんばるから」と言われました。私は胸が熱くなって黙って大きく頷きました。

お願いになりますが、「なごみ」訪問実施日は毎月第3日曜日です。参加できない場合は事前にご連絡を頂くことになっています。当日に突然の欠席のときは、「なごみ」事務所 TEL024-573-6161にご連絡ください。

「生愛会」傾聴ボランティア

Bさん

福島市内から車で北へ約30分、果樹畑の中に桃色ピンクの堂々とした建物が現れます。そこが、毎月第4水曜日訪問させていただいている医療法人生愛会附属介護老人保健施設生愛会ナースینگケアセンターです。傾聴活動メンバーは7名です。活動は午後1時半からですが、先輩の3名の方は、社会福祉法人生愛福祉事業団生愛ガーデン、通所リハビリテーションで到着後すぐに活動を開始します。今年度からのメンバー4名は、事前オリエンテーションを受けてから、老人施設での傾聴活動を行います。当初は、高齢者の方もボランティアをするほうも不慣れで、高齢者さんはなんで自分なのかとか、親戚の人が面会に来たのかと思ったのに「な～んだ」等という事もありましたが、近頃は、次々と予定していない方もホールに集まって来られます。ボランティアの存在が認められたのかかもしれません。とても嬉しい限りです。

傾聴は施設側で準備して下さったホールで行っています。1対1で、周囲を見渡すことができ、安心感が保て、周囲との良い距離感をもった位置で行います。約1時間、ご自分のこれまでの人生や家族の事など笑いあり涙ありで語られます。また

傾聴の風景



ボランティアをする側も事前オリエンテーションがあるので、不安なく傾聴に入れます。傾聴終了後は、サービス付き高齢者向け住宅1階に併設されている地域交流館（多目的ホール・カフェ）で振り返りをして終了となります。飯坂電車を利用しているメンバーのために桜水駅まで送迎をしていただいています。微力ではありますが、高齢者の方が、たとえ心配事や不安なことがあったとしても、その時間だけでも安らぎを得られる時間になるよう願っています。今後とも傾聴を行うものとして、自己研鑽をしていきたいと思います。

高齢者総合休養村 「あづまの郷」 訪問

C さん

あづまの郷には、高齢者の日常を支える施設が5つあります。私達はその中の65歳以上で、介護を必要としない方を対象とする、ケアハウス、吾妻園を毎月第2水曜日の午後（2：30～3：30）に5名のメンバーで訪問しています。訪問時間が丁度お茶の時間と重なりますので、いつも大きなテーブルを囲んで、和やかな傾聴のひと時となります。9月は3回目の訪問でした。入所者、メンバー合わせて10数名となりました。お茶の時間ですので、スムーズにお話に入れます。皆さんのお話をうなづきながら聴いているうちに、お声がだんだん大きくなり、表情もほぐれてお話も進みます。活動時間終了の頃にはテーブル全体が明るい雰囲気につつまれ、退室の折にはニコニコ手を振って下さる笑顔が、いつまでも心に残ります。

「ツクイ」での1時間

D さん

ツクイは飯坂線、笹谷駅下車、歩いて5分程のところにあるデイサービスです。毎回「おはようございます、よろしくお願いします」と元気に挨拶し、10時から11時迄の傾聴が始まります。月2回、第1と第3木曜日です。皆さんがとても明るく、手作業、漢字や算数ドリル、入浴、体操等をしております。

お口のお元気な方が多く、話すのが楽しいようです。でも中には、今、席に着いたばかりなのに帰ろうとする方も見られ、手をさすったり、お話する事で落ち着いていく姿も見られます。また一方では顔見知りになり、にこにこ迎えてくださる方もおります。最後には「ありがとうございました」、「また、来てね!」と拍手のうちに終わります。皆さんのお話を聴き心が和んだり、苦しみを感じたり、勇気やエネルギーを頂き、今では、私の生きる力となっております。

「グループホーム もとうち」 訪問

E さん

このホームは、国道4号線をはさみ、信夫ヶ丘競技場の近くにあり南側には北信福祉会があります。2階構造で、1階、2階各9人ずつ入所しており、とても家庭的なホームです。

清流松川と福島名所信夫山を望み、四季折々の風景を楽しみながら過ごせる所です。私共傾聴メンバーがこのグループホームに伺う様になったのは、私がヘルパーの資格取得の為にこの北信福祉会で3ヶ月間通っている間、このグループホーム管理者の藤枝さんが講師としておい出になられ「私のホームでも傾聴ボランティアを受け入れる計画をしています」と言われていたのを聞いて、このホームを下見させていただきました。私共の「傾聴ボランティアさくら」会員をこのホームに訪問させていただきたいと思い、後日、責任者のシスタ

一熱海と事務局会議で相談した結果、希望者を募り、26年5月より訪問を始めました。こちらのホームの特色は小規模多機能と言われているように細かな配慮を心掛けておられます。9月12日の訪問後の感想談話で藤枝さんから「傾聴さくら」のボランティアの方々と話し合ったその日は、いつも楽しい事を思い出してそれを大切に思い、皆さん穏やかに過ごしています」と言われました。是非この活動を継続してほしいとの明るい希望に、私共も安堵の胸をなでおろし、「来月も来ましょう」と逆に元気をもらった感じです。

このグループホームは、「明るく」「仲良く」「元気よく」という精神に、私達も心から共感致しました。

浪江町「宮代仮設住宅」訪問

Fさん

ある日の「宮代仮設住宅」の訪問の様子をご紹介します。

「傾聴ボランティアさくら」のメンバーの5名は、カトリック松木町教会の活動である仮設住宅訪問「ふれあい茶の湯」に参加させていただきました。宮代にある浪江町仮設住宅の集会所に着くと机と座布団を並べお茶の準備をします。集会所の一角にはめずらしい茶花が飾られます。時間になると三々五々とお集まりくださいます。この日はアトラクションはお琴の演奏でした。「春の海」「荒城の月」「故郷」などを聞き、心がゆったりとしてきました。その後にはこの月生れの方の「お誕生日おめでとう」のセレモニーです。ハッピーバースデーを歌ってみなさんで祝います。それから季節感のある和菓子とふっくらと点てられたお抹茶をお運びします。私達も仮設住宅にお住まいの方々の間に入りお抹茶とお菓子を頂きながらお天気の話、飾られているお茶花のこと、体の具合のこと、若い時のこと、ご家族のこと、未来のことなど話は深まってゆきます。みんなの表情は次第に和やかになり微笑みがこぼれていました。私達も爽快な気持ちに満たされました。神様に感謝いたしました。

訪問ご希望の方はお申し込みください。訪問の予定日は一定ではありませんので、電話でご連絡いたします。

バザーと傾聴ボランティア 「さくら手芸部」

Gさん

去年は、あかしや祭の会場の一隅にバザーのコーナーを設けて、傾聴ボランティアの活動状況をお知らせ致しました。

今年4月に、「傾聴ボランティア さくら」が設立され一層の有意義な活動が進められておりますが、活動をするための資金が会員の会費だけでは、通信費を賄うので精一杯という状況を知り、少しでも活動資金にゆとりを持たすことが出来ればと木曜日（第2、第4）の常設コーナーの中で話し合われ、バザーへの参加を決定いたしました。「傾聴さくら手芸部」は7月から始めて9月で3回になりましたが、常設コーナーでも、皆様にご協力していただけるようになり、みんなでワイワイ楽しみながら、手芸小品が沢山出来上がりました。

バザーには手作り品だけでなく家庭用品、衣類などご家庭で不用のものなどのご協力をお願いいたしました。11/2（日）の桜の聖母短期大学あかしや祭へお出かけの際は、「傾聴ボランティアさくら」コーナーにお立ち寄りください。みんなで楽しみながらバザーを成功させていきましょう。尚、今回のバザー参加は総会で提案がなされていないので、任意の参加で行うことになっております。皆様からの「さくら手芸部」、バザーへのご協力を心か

らお待ち致しております。

常設コーナー 「傾聴ボランティアさくら」

常設コーナーでは度々「いいなー」と思うことがありました。メンバー同士の分かち合いがお互いを豊かにしてくれました。今まで自分以外の方の傾聴ばかりを考えていましたが、実はメンバー同士の声に耳を傾けることの大事さに気づいたのです。また、傾聴活動で困難なこと、疑問に思うこと、うれしかったことなどを分かち合い、意見交換をすることは互いのスキルアップにつながりました。第2木曜日と第4木曜日の午後1時30分から3時まで、常設を開いています。桜の聖母生涯学習センター1階第2学生ホールで行っています。

傾聴ボランティア「さくら」勉強会のレポート

Hさん

去る7月、緩和ケア及び終末期医療について医療法人社団爽秋会の田中様に話していただく勉強会がありました。

緩和ケアは高齢者や重い病気を患っている人の痛みや苦痛などを和らげ生命を尊重し、無理な延命をせずに過ごせるよう支えます。「爽秋会」は平成11年に在宅ホスピス中心の医療機関として創設されました。終末期を自宅で過ごすか病院で過ごすか、各々メリット、デメリットがありますが本人が今まで通り自宅で療養したいと希望し、家族も同意した時「爽秋会」ではその思いを大切に、医師をはじめ他職種の専門スタッフが連携をとり、総合的なサービスを提供し、家族と一緒に過ごすことで心が和み勇気づけられ最期まで本人らしい生活ができるよう支援することが「爽秋会」の理念だとのこと。丁度原稿執筆中、新聞に福島選出の某国会議員が「尊厳ある終末期医療についての法案を通常国会に提出したい」との記事があり、小さい文面でしたが、心強く思いました。



傾聴ボランティアアフターケア講座受講生と
岡安詔子先生

お知らせ

1. あかしや祭への参加について

桜の聖母短期大学では恒例の“あかしや祭”が11月2日(日)に開催されます。“傾聴ボランティアさくら”は昨年に続いて今年も“傾聴コーナー”とバザーを開設いたします。多くの方々にお立ち寄り頂き、よい出会いができますように。

2. 「傾聴ボランティアさくら」の活動にまだ参加されていない方は、新たに募集いたしますのでどうぞお申込みください。

別紙申込み用紙にお書き込みの上、下記の住所に、またはFAXでお送りください。

960-8585 福島市花園町3-6 桜の聖母短期大学生涯学習センター

TEL 080-8211-6811

FAX 024-534-4571

3. 傾聴ボランティアアフターケアコース

秋 期：11月9日(日)、1月18日(日) 午前10:00～12:00

受講料：無料

受講対象者：傾聴ボランティアさくら会員

桜の聖母生涯学習センター

「傾聴ボランティアさくら」

住所：〒960-8585 福島市花園町3番6号

桜の聖母生涯学習センター内

連絡先：TEL 024-535-2531

FAX 024-534-4571

携帯 [080-8211-6811] (傾聴ボランティアさくら専用)

[URL]： <http://www.ssg.ac.jp>